

大会名 Competition	第46回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会秋田県予選会女子決勝
NO. M-1	Year Month Day Time 2015年 11月 1日 12:40
場所 Place	横手市増田体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB
湯沢翔北	(28 1st 8 18 2nd 14 34 3rd 16 17 4th 14 OT)	秋田和洋
97 ○		52 ●

主審:Referee 佐藤 良明 (秋田)
副審:1stUmpire 升屋 章 (秋田)
副審:2ndUmpire 長澤 允彦 (秋田)
テーブルオフィシャル:Table officials
湯沢高校男子バスケットボール部

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	佐々木 怜音	CAP	14	0	7	0	2	4	×	北嶋 玲奈	CAP	11	3	0	2	3
5	×	柴田 知恵		11	3	0	2	1	5	×	近藤 萩		13	3	2	0	5
6	×	加藤 杏香		18	0	6	6	0	6	×	斎藤 樹里		4	0	1	2	2
7	×	加藤 舞		25	1	8	6	4	7	/	澤田 小春		0	0	0	0	0
8		宮野 茉恵		-	-	-	-	-	8	/	鈴木 詩桜里		0	0	0	0	0
9	×	千葉 沙希		10	0	2	6	2	9		福田 瑛莉香		-	-	-	-	-
10	/	篠原 陽夏		14	0	7	0	1	10	×	佐々木 茜		8	0	4	0	-
11	/	柴田 理央		3	1	0	0	0	11	/	丹 理香		4	0	2	0	1
12	/	高橋 果林		0	0	0	0	0	12		紺野 翠		-	-	-	-	-
13	/	村上 瑠奈		0	0	0	0	2	13		小林 佳央		-	-	-	-	-
14	/	長澤 のぞみ		0	0	0	0	1	14	/	三浦 奏子		6	0	2	2	-
15	/	高橋 悠佳		2	0	1	0	1	15		中村 佳乃		-	-	-	-	-
16		鎌田 華		-	-	-	-	-	16	/	赤塚 星南		0	0	0	0	-
17		鈴木 華音		-	-	-	-	-	17		柴田 奈波		-	-	-	-	-
18		鈴木 あみ		-	-	-	-	-	18		鎌田 光南		-	-	-	-	-
19		藤田 悠楓		-	-	-	-	-	19	×	櫻庭 真子		6	1	0	3	1
20		佐藤 緩乃		-	-	-	-	-	20	/	成田 陽菜		0	0	0	0	1
21		横山 萌華		-	-	-	-	-	21		佐藤 穂乃香		-	-	-	-	-
コーチ		樋渡 真裕							コーチ		松岡 圭一						
Aコーチ		熊谷 傳裕							Aコーチ		伊藤 里咲						
合計				97	5	31	20	14	合計				52	7	11	9	13

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* インドシュート 2P:2P* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は6月のインターハイ予選決勝と同一カード、東北王者湯沢翔北に秋田和洋が挑む一戦となった。

湯沢翔北は試合開始からフルコートのディフェンスからトラップを仕掛け、試合の主導権を握る。#7加藤(舞)のリバウンドショットやスティールからの速攻で開始3分で翔北9-2和洋となると、秋田和洋はたまらずタイムアウトを請求する。しかし湯沢翔北の勢いは止まらず、次々と相手のボールをスティールしては#5柴田の連続3Pなどで加点し、28-8と20点のリードを奪って第1ピリオドを終える。

第2ピリオド序盤も試合展開は湯沢翔北ペース、ガード陣の巧みなアシストパスから#10篠原がゴール下で得点する。湯沢翔北の激しいディフェンスに苦しむ秋田和洋は得意の攻撃パターンに持ち込むことができないが、#5近藤、#4北嶋らが3Pを沈め、必死に食い下がる。しかし点差を詰めるには至らず、46-22と湯沢翔北がリードを広げて第2ピリオドが終了。

第3ピリオド、疲れが見え始めた秋田和洋は湯沢翔北のスピードに対応できない場面が増え、ファウルがかさんでしまう。湯沢翔北は次々と速攻を繰り出し、さらには相手のファウルで得たフリースロー13本すべてを沈め、80-38と大量リードを奪って第3ピリオドを終了。

第4ピリオドに入っても湯沢翔北のスピードと運動量は衰えず、#10篠原、#15高橋(悠)らのインサイドでじわじわとリードを広げる。秋田和洋も途中出場の#14三浦が連続得点して意地を見せるが、湯沢翔北97-52秋田和洋で試合終了のブザー。圧倒的な強さを見せた湯沢翔北が7年連続15回目の優勝(前身の湯沢北時代を含む)を果たし、ウインターカップ2015の出場権を獲得した。

文責 【 系井 大輔 】

得点推移

